

# ふれあい

～三輪地区ふれあい活動推進協議会だより～

第33号 令和6年3月発行  
三輪地区ふれあい活動推進協議会  
〒669-1514 川除 675 番地  
(社協 三田三輪地域福祉支援室内)  
電話:559-5965 FAX:559-5945  
メール:chiiki@sanda-shakyo.or.jp

## 令和五年度 三田市社会福祉協議会 会長表彰式典



表彰を受ける中林眞佐子さん

三輪地区ふれあい活動推進協議会の皆さまにおきましては、日頃より、地域活動にご尽力いただきありがとうございます。  
令和6年2月11日(日)に三田市総合福祉保健センター多目的ホールにて、『令和5年度三田市社会福祉協議会会長表彰式典』が行われました。この表彰は、福祉の各分野で継続的な活動をされ、三田の社会福祉の発展に功績のあった個人や団体の皆様を表彰し、感謝の意を表するものです。表彰には①福祉功労者②福祉功労団体③社会福祉事業功労者の3種類があります。このたび、三輪地区からは永年にわたるボランティア、地域活動、民生協力員の活動などに積極的に取り組み、功績を残された方として、中林眞佐子様が受賞されました。  
午後からは、関西学院大学の藤井博志先生をお招きし、本庄地区で生活支援活動に取り組まれている「まごの手 本庄」の活動報告を交えたフォーラムを開催しました。当日は、100名を超える方にご参加いただき、～地域の助け合い・支え合い運動～を通じて共生の地域づくりをテーマに活動の原動力と地域への思い、そして、社会福祉法人など地域の施設や多様な団体との協働ですすめる価値について皆さんと共有する機会となりました。今後とも自分らしく安心して暮らせる地域を目指して、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(三田市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係三田三輪担当)

## ふれあい健康ウォーキング (三田城址コース)



三輪地区ふれあい活動推進協議会では、令和5年11月25日(土)三輪地区住民の交流を深めることと、健康づくりを目的に健康ウォーキングを54名の参加を得て開催いたしました。いつもの武庫川堤4.5kmを歩くコースから、今回は特に三田の歴史を紹介する(三田天神公園～三田城跡～川本公民顕彰碑～旧九鬼家住宅など)約3.5kmをNPO法人「歴史文化財ネットワーク三田」の皆さんのユーモアのあふれた説明を聞きながら回りました。参加者から「わかりやすい説明で、普段知ることがなかった歴史を知ることができました」とか「久しぶりの友人や隣人と話ができ大変楽しかった」という声も聴かれました。なお、今回は三輪地区老人クラブ連絡協議会からも

協賛をいただき、同様の健康ウォーキングが開催されているが、より内容を充実していくためにも今回のような輪を広げていけば、という意見も聞かれます。ご協力のほどを!

(企画部会 東部 貢)

## 秋の叙勲「旭日単光章」受章



秋の叙勲が発表され、県内から 147 人受章し、様々な分野で顕著な功績を上げた人をたたえる旭日章の 39 人に三輪地区ふれあい活動推進協議会の古田 茂充会長が受章されました。「継続してやってきたことが評価され、何事にも耐えがたくありがたい」とコメント。

1993 年通勤に便利で自然豊かな三田市にひかれて大阪から移住。2000 年から、420 世帯が住む大規模マンションの自治会長を務める。

人と会うのが好きで、大阪市内の大手メーカーで営業畑を歩み、管理職として部署をまとめてきたコミュニケーション力や協調性が即戦力として自治会活動に生き、「互いに同じ立場。みんなの力を借りないとできない。伝え方、話を聞く力を大切にしてきた」と振り返る。

04 年からは三輪地区区長・自治会会長。市内 177 の区・自治会を束ねる市区・自治会連合会副会長、会長を歴任。阪神大震災を経験し、地域のつながりが災害時に命を守ると痛感し、防災力の向上を活動の使命とする。

地元自治会では防災訓練を重ねて顔見知りを増やし、連合会では毎年、防災をテーマに区長や自治会長対象の研修会を開く。「災害時に助け合う環境があって初めて、自治会があって良かったとなる」と信じ防災訓練などに取り組む。

現在は七つの役職を務める多忙ぶり。大好きなゴルフや友人と酒を酌み交わすのが活力。

「今後は後進の育成や後方支援に努め、さらに安心、安全で住みやすい街にしたい」と力を込められました。

(令和 5 年 11 月 3 日 読賣新聞掲載)

## 新春ふれあいコンサート開催

三輪小学校区まちづくり協議会

恒例となりました「ふれあいコンサート」をキッピーモール6階多目的ホールで開催。大人も子どもも、楽しめるストーリー性のある音楽を演奏していただきました。

### テーマ《動物パーティー》

開催日：令和 6 年 1 月 14 日（日）14 時～開演

開催場所：キッピーモール6階まちづくり協働センター多目的ホール

参加人員： 92 名

出演者：ウッディジムカさん



猫の二重奏



猫ふんじゃった



ジャンボリーミッキー



## 松が丘校区

### 松が丘小学校区まちづくり協議会 「松が丘校区防災訓練」

令和6年1月20日(土)、住民のつながりを強め、地域の防災力を高めようと松が丘小学校で災害に備えた訓練があった。能登半島地震で災害の恐ろしさが再認識される中、市在住の外国人にも参加を求め、計約400人が人命救助の手順などを確認。校区のまちづくり協議会が主体となり、阪神大震災の発生時期に合わせ1年前に初めて実施。今回は参加者の枠を広げ、「共助」の輪をさらに拡大しようと企画。地域住民らが揺れなどから身を守る行動をとる「シェクアウト訓練」に続き市消防団や住民団体「さんだ防災リーダーの会」の指導を受け、消火器やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学んだ。児童たちも、竹ざおと毛布を使った簡易の担架づくりに挑戦。海外の出身者らとも積極的にコミュニケーションを取っていた。能登半島地震の直後でもあり、訓練には緊張感が漂い、まちづくり協議会長の古田茂充さんは「市内の外国人の住民も増え言葉や習慣を超えて助け合える環境づくりを進めたい」と話す。(令和6年1月22日(土) 読賣新聞掲載)



### 大原荘園ふれあいサロン



こんにちは大原荘園です。過日ふれあいサロンでタコ焼きをつくりました。私たちはもちろんお腹一杯いただき、地域でごぶさたしている一人暮らしの方や高齢者夫婦の方達に寒中見舞いとしてお渡しいたしました。8個入りで50ケース、さらに私たちのお腹に入った分、いったい何個焼いたのでしょうか？来月は楽しみのいちご狩りです。

これもまた、お腹一杯いただくつもりです。

(民生委員児童委員 中根 和子)

### 松が丘小学校感謝の集い



令和6年2月19日(月)松が丘小学校で「松小感謝の集い」が行われました。防犯、見守り隊、自治会等々10団体の方々に参加され、松小児童から感謝の言葉と手書きのお礼状をありがたく頂きました。

(民生児童委員 中根 和子)



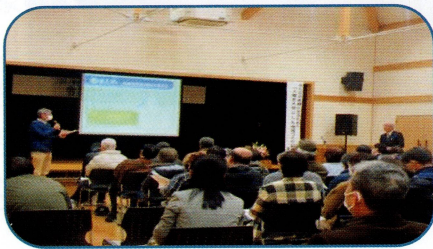
## 志手原校区

### 三田市人権を考える会志手原地域部会

#### 《令和5年度人権研修会を振り返って》

志手原校区地域づくり協議会では、令和6年2月4日（日）有馬富士共生センターにおいて、元三木市立小中学校・校長春川正信先生をお招きし、4年ぶりに「人権研修会」を開催しました。以前は、年に一度は自分の行動を見直し、知らず知らずのうちに差別で、人権を浸していないか、自分自身に問う機会としてましたが、コロナ感染により長らく途切れたことや、最近の人権を無視した国際的な出来事（ウクライナやイスラエル問題）などがあり、地域での人権研修に参加していただけるかどうか不安もありましたが、会場満席のご参加をいただき、参加された住民の皆さんから「昨今のような命・人権無視の事象が充満している時こそ地域での小さな研修会の積み重ねが必要だね」といった声も聞こえました。研修会では、春川先生から“みんなが笑顔になるために”を演題に、豊富な経験と実践から誰もが幸せに生きていくうえでの「笑顔・感謝・思いやり」の必要性を学び、一層住民同士のつながりを深め、みんなが生き生きとしている、そんな地域づくりに繋がっていきたいと思います。最後に能登半島地震の被災者の皆さんの一日も早い復興を願い「花は咲く」を歌い締めくくりました。

（人権研修実行委員会 代表 小西 澄雄）



## 成谷区・砥石川区・香下区

### 三区ふれあい会（成谷区・砥石川区・香下区）

コロナ感染のため、近所に住んでいてもなかなか話が出来なかった3年間でしたが11月26日（日）待ちに待った成谷、砥石川、香下「3地区ふれあい会」を民生児童委員協力員、健康推進委員、香下すこやかサロンの皆様のご協力のもと、香下公会堂で開催しました。

29名の参加で美味しい会食の後、兵神邦楽会の皆さまにより、日本伝統芸能雅楽の笙（ショウ）箏（ヒチリキ）龍笛（リュウテキ）にて演奏していただき、ゆったりとした空気のなか優雅な時が流れました。参加者からは「楽器の実物をみたこともなかった」「非日常的な時だった」「楽しかった」「次回を楽しみにしている」とのお声をいただきました。また、ビンゴゲームも盛り上がり、しばらくぶりに知り合いに出会って、少しでも話が出来ればこの会を実施した意義もあり「3地区ふれあい会」の機会をよりよいものにして行きたいと思えます。



三輪地区ふれあい活動推進協議

会

西田 加代子

